

	冬季 50m ライフル・ランクリスト競技会	G3, G3+
--	-----------------------	---------

1. 大会名	第 22 回 冬季 50m ライフル・ランクリスト競技会	
2. 主催	公益社団法人 日本ライフル射撃協会、各加盟団体 (公益社団法人 日本ライフル射撃協会 公認試合)	
3. 主管	各都道府県ライフル射撃協会他	
4. 期日	① 2023 年 3 月 1 日(水) ～ 2022 年 3 月 31 日(金) コロナウィルス感染症の拡大状況が予想できないため、上記の会期内で 1 回、主管団体任意の期日を設定できる。	
5. 会場	日本ライフル射撃協会の Web サイトに掲載された会場（参加制限の関係で、要項を掲載しない会場がある。） 事前に要項の送付なく競技会を実施した場合、提出された記録は公認しない。 過去に競技会場としてエントリーしたことがないが、以下の条件を満たす会場設営が可能な場合は、会場としてエントリーすることができるので、競技運営委員会に申し込んでください。また、当該地区ブロック射撃連盟が主催する場合は、競技運営委員会に申し込んでください。 ① 会場が日ラの公認射撃場であること。 ② 5 的以上の射座で同時に競技ができること。 ③ G3 (G3+)の競技会運営体制がとれること。	
6. 開会式	実施しない。	
7. 閉会式	実施しない。	
8. 大会責任者	大会委員長 テクニカル・デレゲート 競技委員長 日ラ本部	松丸 喜一郎 (各会場が必要に応じて設定。) 各都道府県競技委員長 競技運営委員会 三木 容子・鈴木 慎平
9. 競技日程・種目	① FR3P ② R3P ③ FR60PR/R60PR 2022 年 12 月 31 日現在で 21 歳未満のジュニア選手の記録は、自動的に一般とジュニアの部両方のランキングに有効とする。	
10. 競技方法	競技は個人戦で、各月の上記の連続する土日の 2 日間の内各日 1 回、もしくは同じ日の違う射群に出場して 2 日間で合計 2 回まで競技をすること。連続する土日で 3 回以上競技を行なった者は、その土日での 3 回目以降の成績を無効とする。 成績の各会場分は当日中に当該会場に掲示する。通信競技会全員の成績については当協会ホームページ上の各選手のランキング成績に加えて掲示する。	
11. 競技規則	1. 各種目とも、ライフル射撃競技・規則集 最新版による。 (ア)射座入場時間については、各会場で判断の上、事前に参加者へ周知すること。 2. Final は実施しない。	

	<p>3. 上位者の標的を送付は不要。</p> <p>4. 射座割りには主管団体の判断により、参加者の便宜をできるだけはかること。射群をエントリー時等にあらかじめ指定し、射群内の射座については当日抽選等で指定しても可とする。</p> <p>5. 段級の受験について。第 15 条の 3 記載通り。1 級から初段への同時受験禁止。(同月の競技会では受験できません) また同一種目を受験する場合、1 日 1 競技でしか受験できません。</p>
12. 記録の提出期限	<p>各会場、原則として競技終了後 1 週間以内に提出すること。記録は、ニチラネットから「成績記録報告用シート」にて提出すること。任意の記録表では、順位に反映しない。</p> <p>各会期末に競技を行う場合は、各会期で以下のとおり記録の提出期限を設ける。提出期限を超えての成績報告は一切受け付けない。</p> <p>【期末に競技を行った場合の提出期限】</p> <p>2023 年 4 月 9 日(金)</p>
13. 使用標的	<p>電子標的または SB3 号 G 標的(2 発撃ち込み)</p> <p>※G3+として行う会場で、紙標的を使用する場合は 1 発撃ち込み。</p>
14. 参加資格・参加制限	<p>以下の要件を全て満たすものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本ライフル射撃協会の会員であること。(※高校生も参加可能) 2. 上記の未登録者であっても、主管団体の判断で試合当日までに必要費用を添えて日ラ会員登録の申請をした者。 3. 会場地において、射座数の関係から参加制限を実施することがあります。
15. 表彰	<p>行わない。</p>
16. 参加料	<p>各会場にて定めます。</p> <p>※登録料を含める、または別途、徴収する等、主催者が定めます。</p>
17. 参加申込	<p>1. 各会場の申込先に申し込むこと。</p> <p>※申込方法、期限、キャンセルポリシー等については各会場の要項を参照すること。</p>
18. 公式練習	<p>会場ごとに、実施の有無を含めてウェブサイトに掲載する。</p>
19. 宿泊・昼食	<p>各自で準備・負担とする。</p>
20. 銃器・弾薬	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自で準備、負担。銃砲所持許可証、日ラ会員証、射手手帳は、必ず携行し、主催者からの求めがあった場合は提示すること。 2. 銃器・弾薬等については各自携行のこと。 運搬・携帯・保管については、特に留意すること。 3. 銃器については、有効期限内の銃器公認シールを貼付すること
21. その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各加盟団体の責任者は、各会場の要項を参加者に周知徹底させること。 2. 本競技会は G3 または G3+ に相当する競技会である。 各会場で設定したグレードに応じ、公認競技会の格付規程に設定された最低限の専任役員(G3+にあっては 4 名、G3 にあっては 3 名)を配置すること。 競技委員長は会場で配置し、本部では担当しない。